

# 諏訪市の統計

令和4年版

長野県諏訪市

# 市章



諏訪市章は「スワ」の文字を図案化して鵬を表し、双翼に和と伸長を表現しています。

(昭和16年8月10日公布)

## 諏訪市民憲章 (平成3年8月10日制定)

諏訪市は、ゆたかな自然と伝統に育まれたまちです。  
わたくしたちは、先人の努力を思い、さらに住みよい  
まちづくりをするために、ここに市民憲章を定めます。

うつくしい湖 あふれる緑 小鳥うたうまち  
文化の香り高く いきいきと やさしいまち  
愛する郷土 世界のひとと 手をつなぐまち

## 市 花



あやめ (はなしょうぶ)

昭和 56 年の市制施行 40 周年を記念して市花に制定されました。湿地や水辺に広く栽培されているアヤメ科の多年草で、毎年 6 月下旬に紫色や白、絞りなどの花をつけ、その可憐な姿を見せてくれます。



ニッコウキスゲ

市制 60 周年を記念して平成 13 年 8 月に市花に制定されました。本州中部以北の山地の草原に群生するユリ科の多年草。初夏に 40~80cm の花茎を出し、日中に黄色やオレンジ色に花を咲かせます。さわやかな緑の草原に、黄色いじゅうたんを広げたようなニッコウキスゲの花々の姿はみごとです。

## 市 木



きはだ

昭和 56 年の市制施行 40 周年を記念して市木に制定されました。山地に生えるミカン科の落葉高木で、樹皮の内側が黄色く、内皮は黄檗という生薬名で古くから健胃剤や火傷の薬として用いられています。高島公園内にはきはだの古木が立っています。



かりん

市制 60 周年を記念して平成 13 年 8 月に市木に制定されました。バラ科の落葉高木。市内で見られる「かりん」は、ほとんどがマルメロ（本かりん・スミルナ）ですが、「かりん」と呼ばれ親しまれています。春は淡いピンク色の花をつけるかりんは、秋にはさわやかな芳香を放つ黄色い果実を結び、せき止めや果実酒、砂糖漬けの材料になります。諏訪市を象徴する街路樹として親しまれています。